

IV.戦略分野

4.「暮らす」

(2)目標逆算ロードマップ^o

③FinTech

③日本の立ち位置 FinTech

FinTechの現状

- FinTechにより、あらゆる経済活動に伴う **A)「お金」のかたち、B)流れ、C)信用・リスクの捉え方、D)担い手が大きく変化。**
- IoT、AI等により、人々の経済活動や産業の競争条件が激変する中、それを**支える「お金」も変革を迫られている**ことが背景。
- 世界中で**FinTechを活用したイノベーション競争が激化**している。

日本の立ち位置、アプローチ

- 日本では太宗の個人・企業が口座やクレジットカードを保有する等、誰もが金融サービスにアクセスできる環境にある。一方で、決済のキャッシュレス化やバックオフィス業務のクラウド化等については進展の余地があり、また、従来の制度ではイノベーションに対応しきれないといった指摘もみられる。
- 既存の金融のあり方にとらわれず、FinTechの効果や方策を検討するためには、**ユーザー視点からの発想が不可欠。**
- 以下のような視点から、**FinTech社会の未来像を共有し、その実現に向けた課題や道筋、包括的な政策パッケージ**を示したところ。
 - **消費生活の高度化・活性化（フロー面）や、将来に向けた資産形成の充実（ストック面）を通じて、個人（家計）の生活が劇的に変わる可能性。**
 - **イノベーションと地域経済の担い手であるベンチャー企業や中小企業においては、バックオフィス改革による生産性向上や、資金調達力、キャッシュ・マネジメント強化の実現、それらを通じた経営の高度化、成長に向けた経営資源の投入が可能になり、中小企業等の収益力が劇的に上がる可能性。**

(参考) FinTech社会の実現に向けた道筋

将来像

個人の生活（家計）が
劇的に変わる

日々の消費の
高度化・活性化
(フロー面)

個人の効率的な
資産形成
(ストック面)

企業の収益力が
劇的に上がる
(生産性革命)

バックオフィス業務の
効率化
(業務の生産性革命)

資金調達強化
(財務の生産性革命)

経営力強化・
成長に向けた
資源投入

基本的方向性

i FinTech普及の
前提条件を整える

ii 「お金」の流れを
円滑にする

iii 中小企業等の
FinTech活用を
後押し

iv イノベーション
(試行錯誤)を
促す仕組み作り
・環境整備
(「日本版レギュラトリー
サンドボックス」の検討等)

目指すべき状態

データ融通の環境が整う

キャッシュレス社会が実現する

電子決済のセキュリティが守られる

本人確認がデジタルで完結する

行政データを開放、手続きがデジタルで完結する

金融サービスがデジタルで完結する

会計・経営管理が自動化・効率化する

出入金・資金管理が自動化・効率化する

資金調達力を強化する

イノベーションに向けた実験が促される

様々な革新的なFinTechサービスが出現する

③目標逆算ロードマップ FinTech

| 時期 | 短期（～2018年） | 中期（～2020年） | 長期（2020年～） | |
|-----------------------------------|--|--|-------------------------------------|--|
| 目標 | 個人・企業のFinTech活用促進 FinTechイノベーションを促進するための環境整備、仕組みづくり | | 個人の生活（家計）が劇的に変わる 中小企業の収益力が劇的に上がる | |
| 取組 | FinTechの前提条件を整える | | | |
| | i | 個人データを自らの意思で管理・利用する手段やルールの整備 | | |
| | | キャッシュレス決済比率を政策指標化 | キャッシュレス決済と証憑類の電子化の促進 | |
| | | 技術革新を素早く取り入れるセキュリティ対策 | | |
| | 「お金」の流れを円滑にする(デジタルで完結する) | | | |
| | ii | 本人確認がデジタル完結する仕組みづくり | | |
| | | 行政手続のデジタル化、手続情報の利用がしやすいプラットフォームづくり、行政データの徹底開放 | | |
| | | 銀行・クレジットカード企業のオープンAPI促進 | | |
| | | ブロックチェーン技術の活用促進（国際標準への対応、実証実験の推進等） | | |
| | 中小企業等のFinTech活用を後押しする | | | |
| iii | 「バックオフィス業務等のクラウド化率」を政策指標化 | バックオフィスのクラウド化推進、FinTech活用方法と効果の理解促進、インターネット・バンキング利用の推進 | | |
| | 金融と商流のEDI接続の推進 | | | |
| | 「サプライチェーンキャッシュコバージョンサイクル（SCCC）」の政策指標化 | FinTechによる革新的な資金調達手段の促進、サプライチェーン全体の資金循環効率の向上 | | |
| イノベーション（試行錯誤）を促す仕組み作り・環境整備 | | | | |
| iv | FinTechイノベーションを促進する規制・制度改革（「レギュラトリー・サンドボックス」の検討等） | | | |
| | グローバル競争力あるFinTech拠点づくり | | | |
| | 人材育成、転職・再就職、兼業副業等を通じたFinTech人材の確保 | | | |